



ŌMIYA NEWS



No.105 2024年12月30日 JR東労組大宮地本

2025年3月 ダイヤ改正 日光線



鹿沼～宇都宮間 朝7時台1本増便!

増便!



利用者の立場で、具体的な課題と対策を 団体交渉で会社に示し、増便実現へ!

2022年3月のダイヤ改正で、日光線ワンマン化による列車本数減少で通勤・通学帯の混雑が課題となっていました。利用者の不満の声が相次ぎ、運転士の多くは車内の混雑の様子から輸送力減少や会社施策への疑問を抱いていました。

この間宇都宮支部を中心に検証運動を積み重ねました。通勤・通学帯の実態を把握のため乗務員の声を聞き、データ化等を行い、その実態を政策提言・施策検証会議等で問題提起し、改善策※を提言し団体交渉へと高めました。

※宇都宮線内の回送列車を活用し列車間合短縮等を提言しました。

職場の声、地域の声から実現!
労働組合の社会的役割が発揮された!

この間、宇都宮支部が関係を築いてきた栃木県や宇都宮市・鹿沼市などの地方議員との連携により議会でも取り上げて頂き、今回の成果に繋がりました。労働組合が地域住民の声や要望をもとに大きな改善を実現しました。

過去に地域の議員との
連携で改善された好事例!

鹿沼市長から 直接お礼の 言葉を頂く!

2025年ダイヤ改正についてプレス発表がされた際に、大宮地本へ今回の日光線増便について「**鹿沼市民のみなさんも喜んで**います。JR 東労組のおかげです。」とお礼の言葉を頂いています!



私たちは具体的な職場運動から「声」に高め、みんなの力で会社に訴えます。
公共交通機関の労働者として地域の方々のために連帯し、運動を作ります!